

報 道 資 料

平成29年9月8日（金）

MV-22オスプレイの岩国基地への飛来情報について

本日（8日）、中国四国防衛局から、大分空港へ緊急着陸したMV-22オスプレイについて別添のとおり連絡がありました。

記

1 連絡があった日時

平成29年9月8日（金）10時25分

2 連絡内容

別添「MV-22オスプレイによる大分空港への緊急着陸事案について」のとおり

3 市からの要請内容

オスプレイについては不安を抱く市民もあり、当該機の機体整備や安全点検の徹底等、万全な安全対策を講じるとともに、飛来にあたっては海上飛行を徹底し、市街地上空を飛行しない等、日米合同委員会の合意事項を遵守するよう、米側に要請すること。

4 国からの回答

防衛省としては、米軍機の飛行に際しては、安全面の確保が大前提との認識の下、周辺住民の方々に不安を与えることがないように、引き続き米側に対し、航空機の安全管理に万全を期すよう求めています。

担当課 岩国市総合政策部基地政策課 Tel 0827-29-5024

平成 2 9 年 9 月 8 日
防 衛 省

MV-22 オスプレイによる大分空港への緊急着陸事案について

8 月 2 9 日（火）に大分空港に緊急着陸したMV-22 オスプレイについては、同空港を離陸し、岩国基地へ向かう予定であるところ、米側から受けた説明内容は以下のとおりですので、お知らせします。

【米側からの説明内容】

- パイロットは、エンジン系統の警告表示を受け、通常の手順に従い、緊急着陸を行った。エンジンに不具合が生じた原因等については解析中である。
- 当該緊急着陸を受け、米側は機体の徹底的な安全点検を実施した。9 月 6 日（水）に、左右のエンジン交換が完了し、その後、地上における機体のテストが大分空港で行われた。
- 当該機は、地上において機体の全てのシステムが正常に作動可能であることを確認した後、大分空港周辺で試験飛行を行い、機体の最終点検を実施する。
- これら徹底した安全点検の結果、通常の飛行に問題は無いものと判断された場合、当該機は岩国基地へ向かう。岩国基地に到着した後、搭乗員が沖縄に帰投するための調整を実施する。

以 上